



平成29年3月27日

各報道機関 御中

山梨大学

「韮崎市と国立大学法人山梨大学との包括的連携協定」の締結について

山梨大学は、このたび、韮崎市との相互の目標の実現に資するため、また、これからの地域の主役である若者の人材育成を目指し、双方の持つ資源の活用や様々な分野での緊密な連携を通じて、両者のつながりを築きつつ持続的なパートナーシップを確立するため、包括的連携協定を締結することとなりました。

今回、韮崎市の進める『にらさき愛育成「Come back 支援事業」』の実施による、人口減少の歯止めと地域・市政の活性化への取り組みに対し、本学の教育ボランティア制度（社会参加実習）の活用を図るなどの取り組みを進め、連携を一層強化してまいります。

つきましては、下記のとおり調印式を举行しますので、取材方よろしくお願い致します。

記

- 日時：平成29年3月29日（水）13時30分～15時
場所：韮崎市民交流センターニコリ地下 Miacis（ミアキス）
出席者：（韮崎市） 内藤 久夫 韮崎市市長
水川 秋人 韮崎市副市長
八巻 令一 韮崎市教育委員会教育長
松本 恵子 NPO 法人河原部社理事長 ほか
（山梨大学） 島田 眞路 山梨大学学長
中村 和彦 山梨大学教育学域長
北村 眞一 山梨大学地域未来創造センター長 ほか
次第：（1）開式（2）概要説明（3）協定書調印（4）あいさつ（5）質疑応答（6）閉会

【連携事業概要】

にらさき愛育成「Come back 支援事業」への山梨大学教育ボランティア制度（社会参加実習）の活用
韮崎市では、生涯学習宣言都市として、長年にわたり地域の公民館活動に積極的な施策を講じ、重点的な取り組みのひとつとして、中学・高校生に特化した青少年育成のための施策『にらさき愛育成「Come back 支援事業」』を展開して、平成28年10月には、市民交流センター内に『青少年育成プラザ「Miacis（ミアキス）」』を開設、事業の拠点としている。

この「人口減少の歯止めと地域・市政の活性化への取り組み」に対し、山梨大学の教育ボランティア制度（社会参加実習）の活用を図るなど、連携した取り組みを進める。

＜広報担当＞

山梨大学総務部総務課広報企画室
Tel 055-220-8005 Fax 055-220-8799
E-mail koho@yamanashi.ac.jp
（連携事業等に関すること）
山梨大学研究推進部社会連携課
Tel 055-220-8780 Fax 055-220-8757